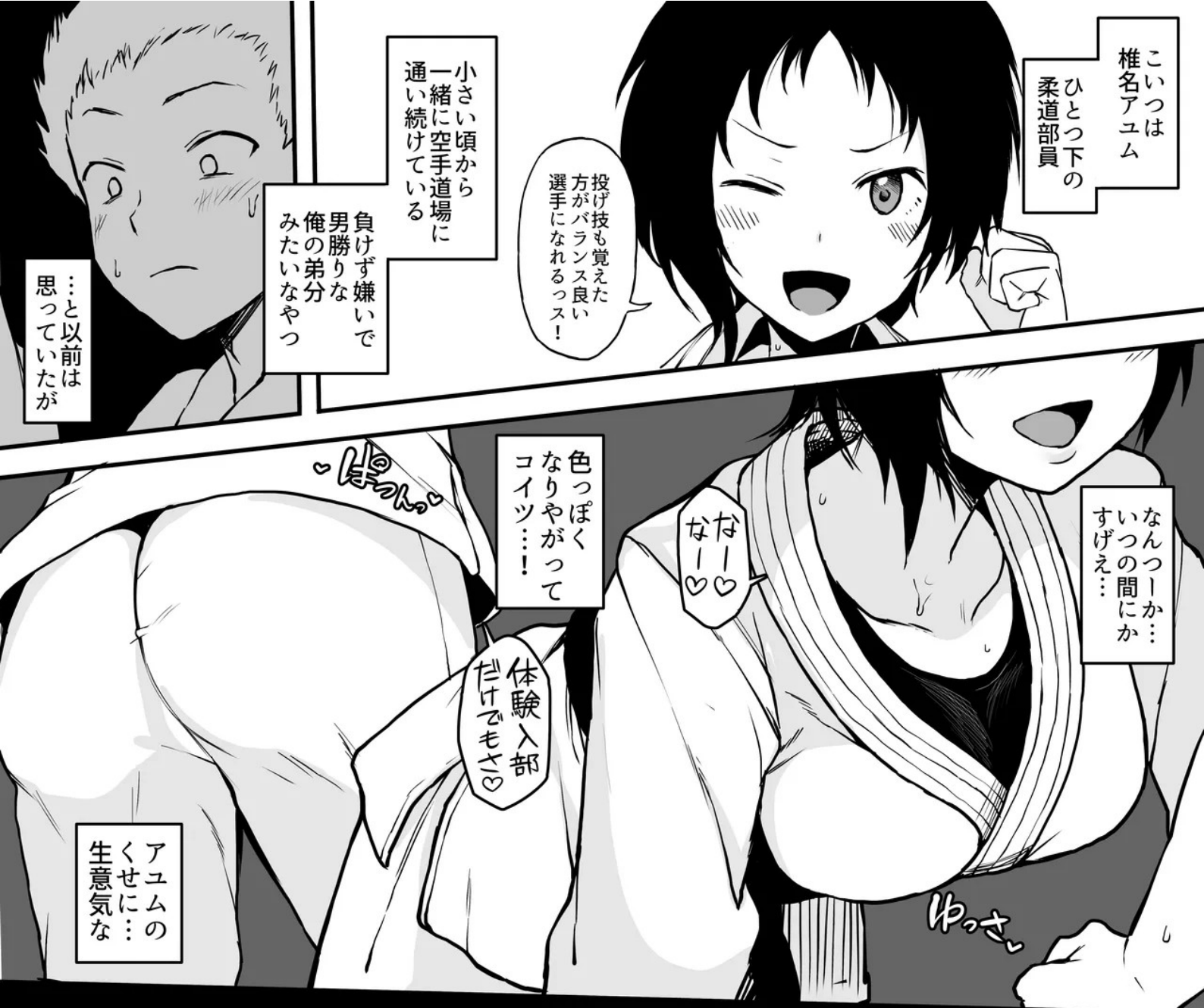
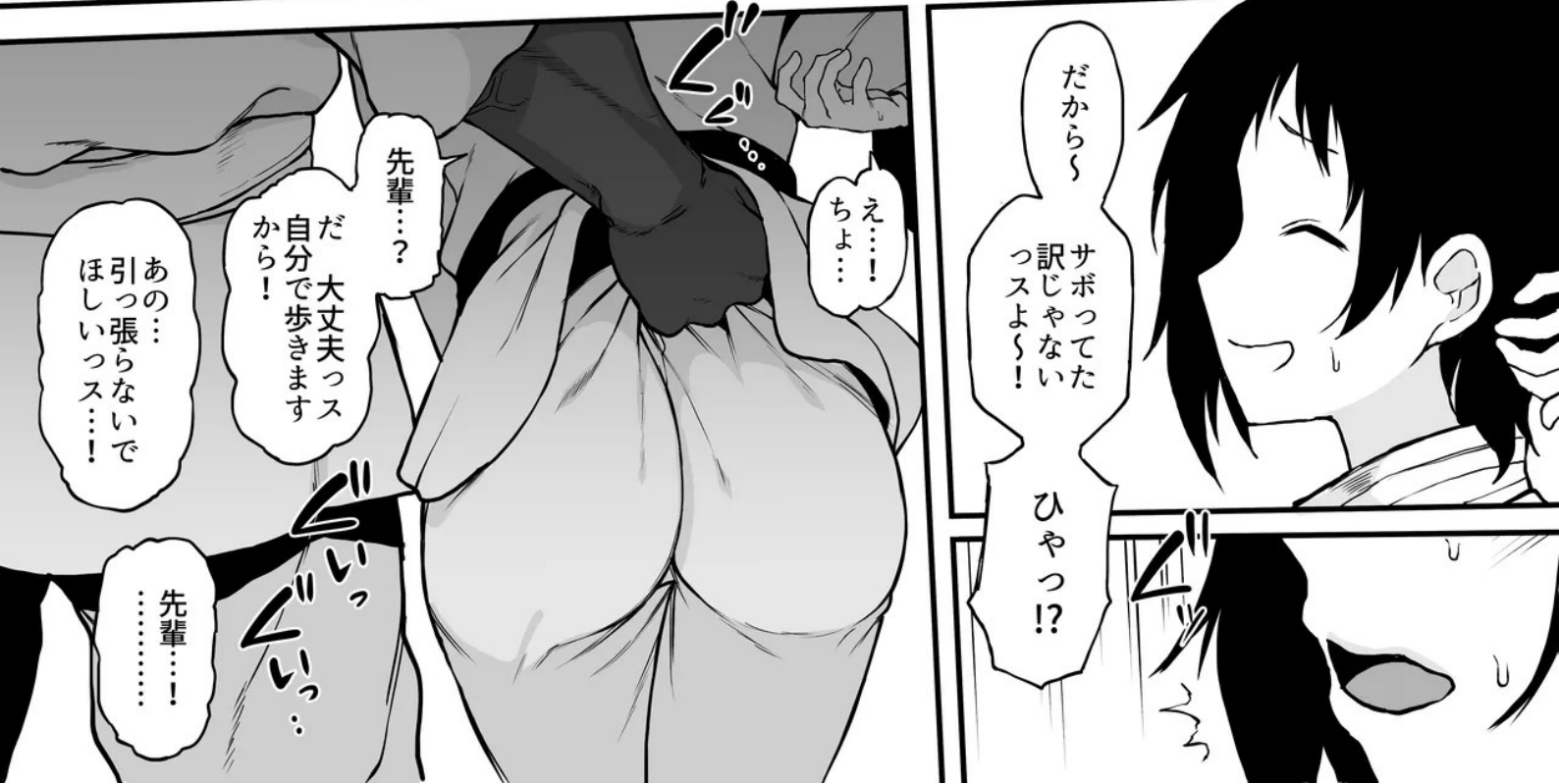
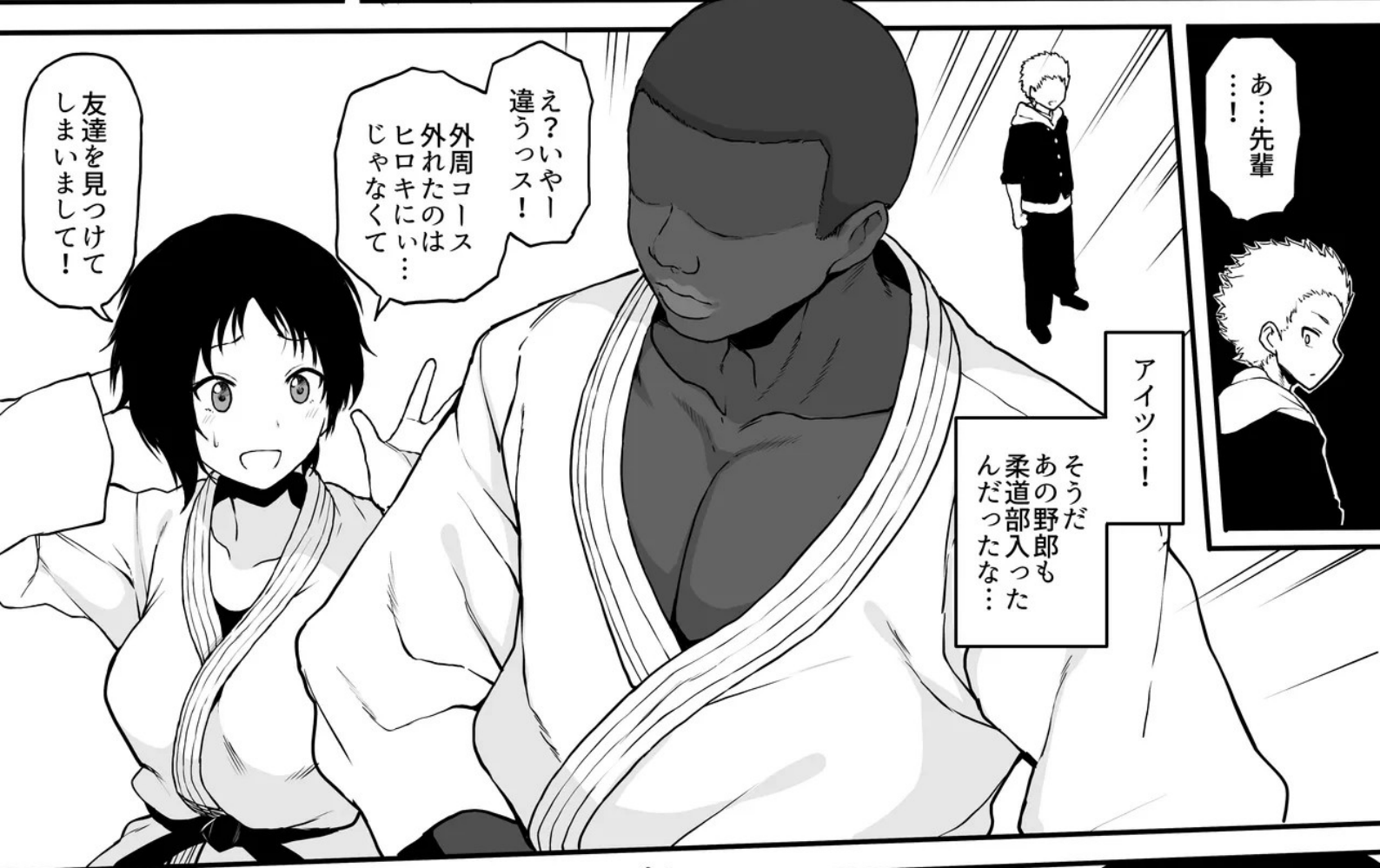
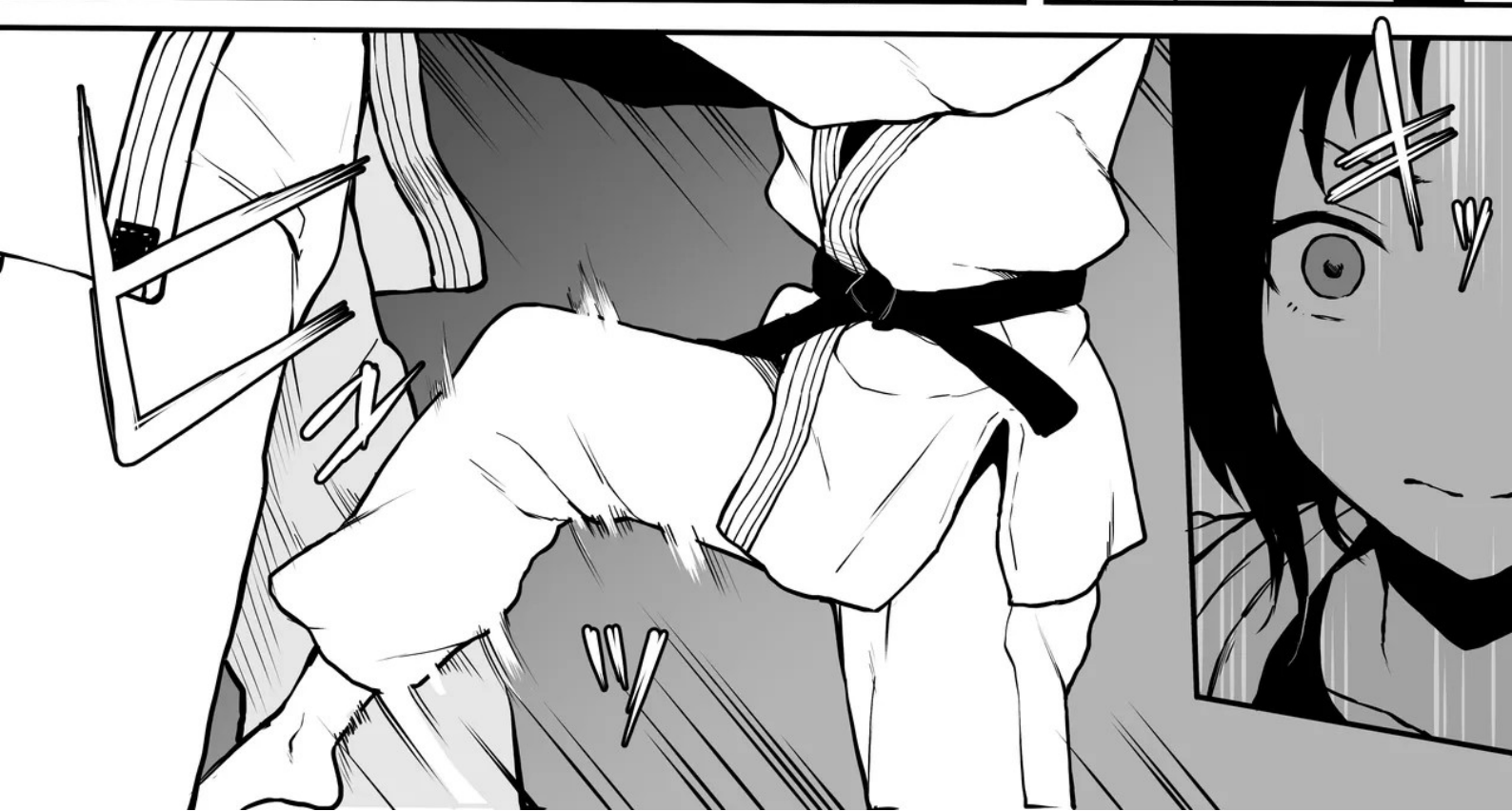


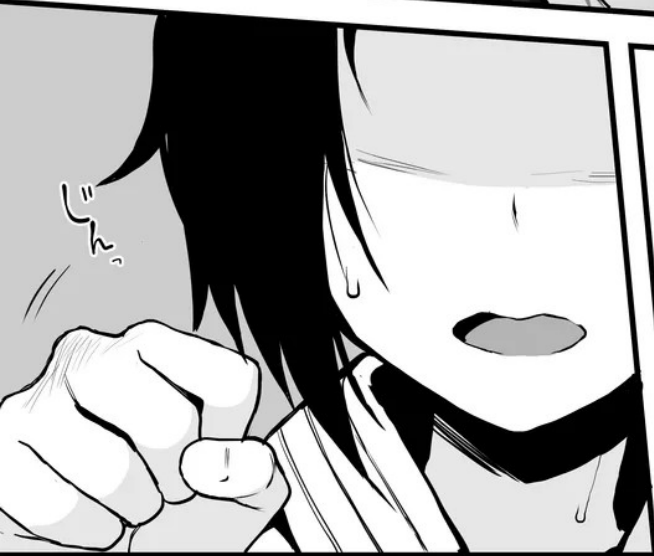
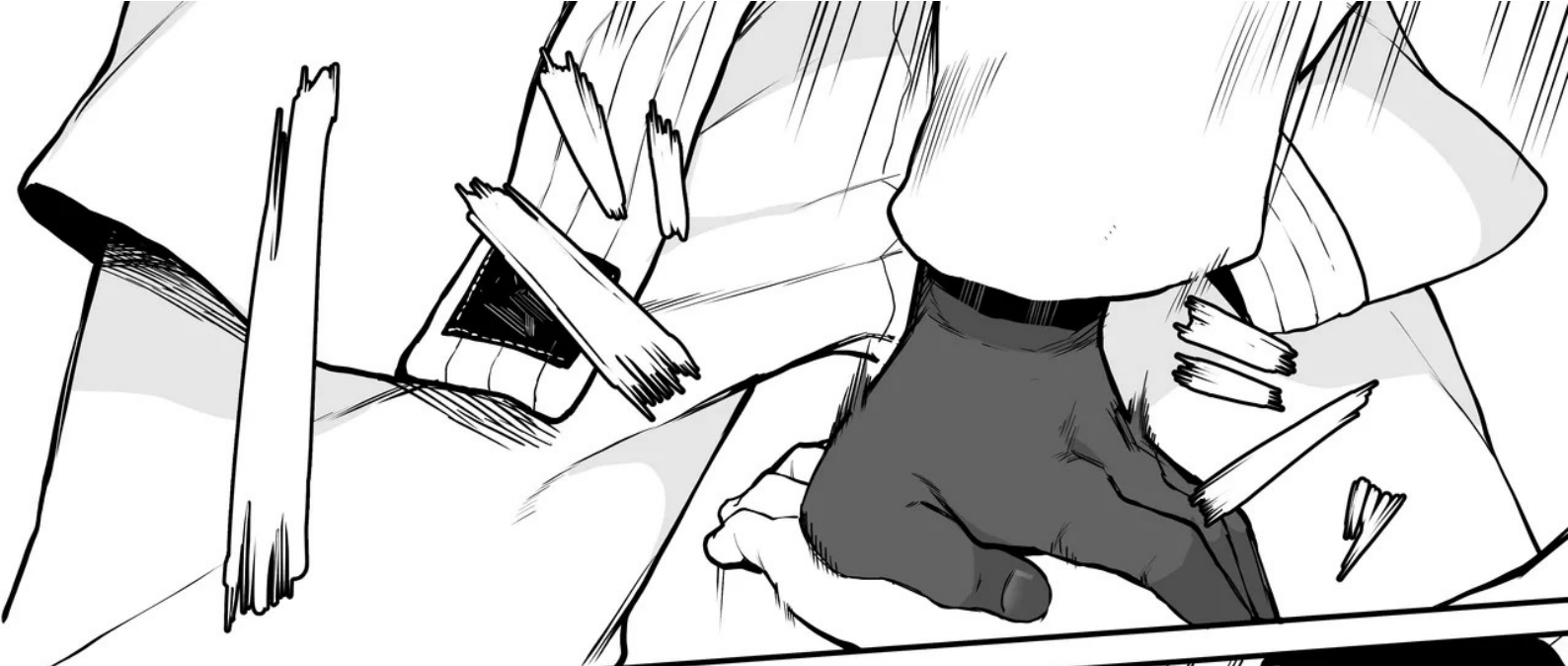














…やっぱ俺の
パンチなんか全然
効かないっスね

このカラダ
には…っス♡

先輩…
降参っス…♡

ま…まいり
ました♡

へへ…♡

また…♡

先輩に…っス♡
負けちゃった
っス…♡

男に
負けないために
格闘技を習った

強くなる
ために

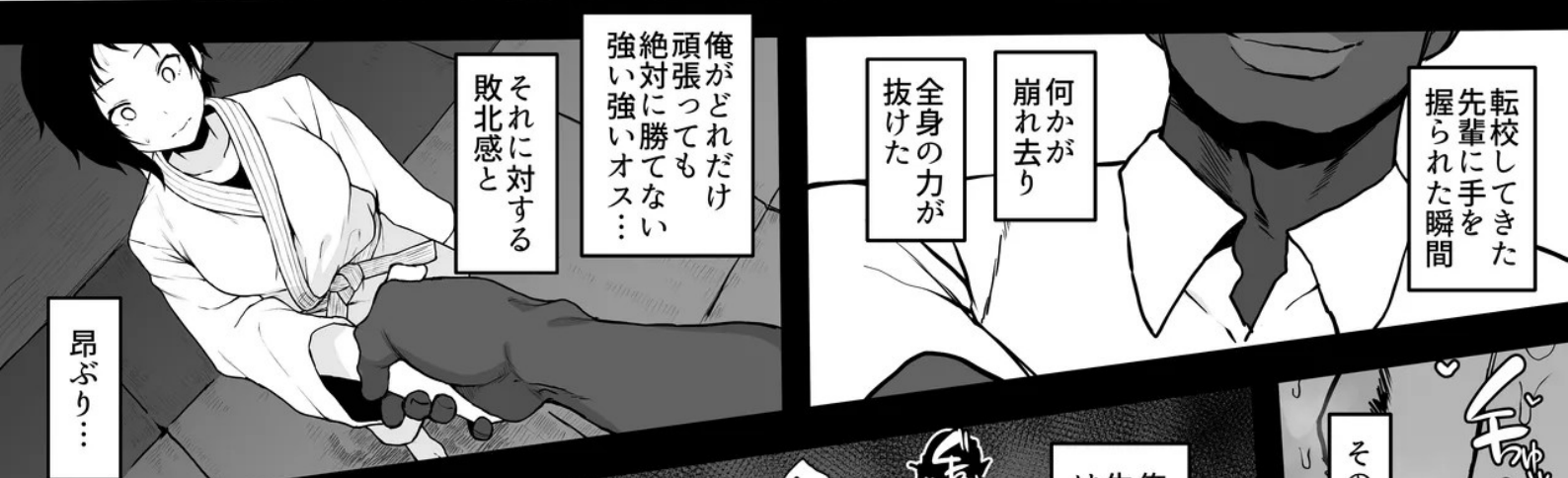
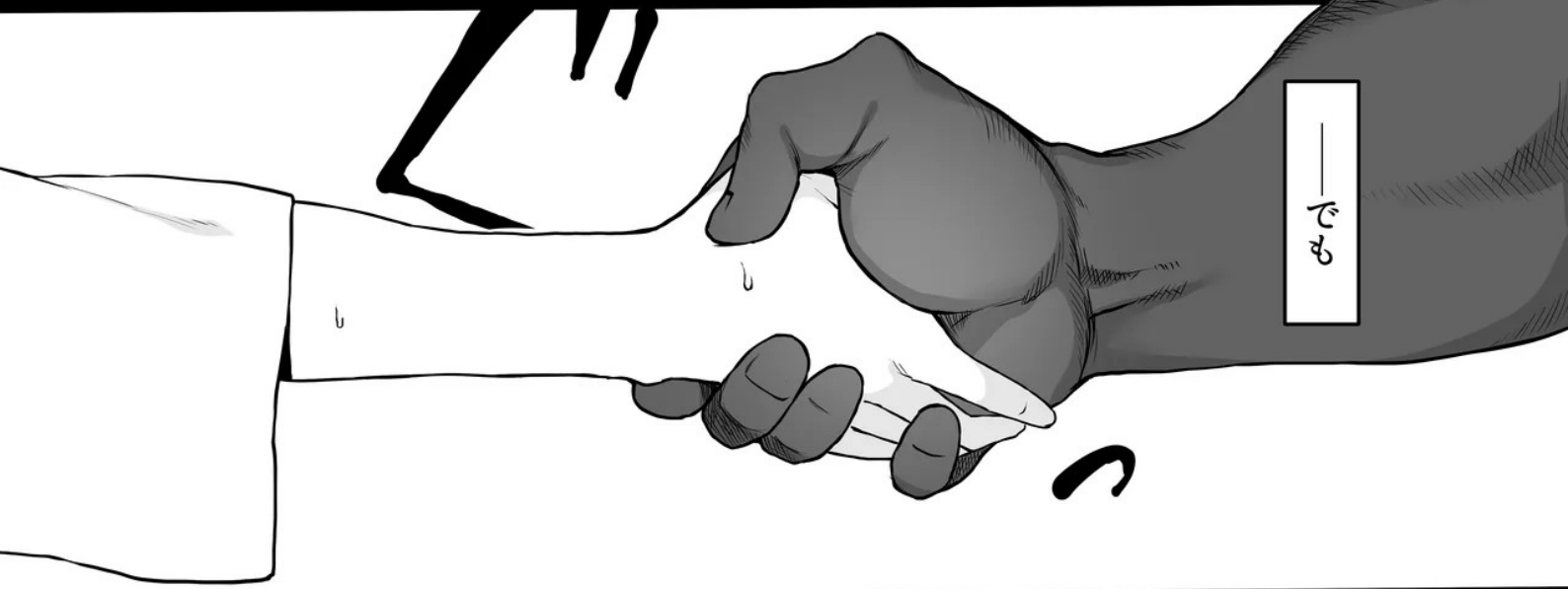
ガバ…



ヒロキにいの
力に憧れて

いじめっ子
から助けて
くれた

——でも



それに対する
敗北感と

俺がどれだけ
頑張っても
絶対に勝てない
強い強いオス…

昂ぶり…



転校してきた
先輩に手を
握られた瞬間

何かが
崩れ去り

全身の力が
抜けた



その夜

俺は
生まれて
はじめて

オナニー
した

おはよう

おはよう

…え？
今から先輩の
おうちにつスか？

いや…でも
俺…そんな…っ

行けばどうなるか
すぐに分かった

…でも

いい…
いいっスよ…

俺は試して
みたかった

へ…へんな事
したらマジで
キレるっスよ

もえ…♡

今まで
ヒロキにいと
一緒に頑張っ
てきた空手が

俺の女の
身体が

先輩の力に
どれくらい
通用するのか

そして
思い知った

空手なんて
関係ない

先輩の体
の下に入れば

俺はただの
雌穴だった

—それ以来

先輩の強さに
『屈服』し...

こうして

先輩...っ♡
指太すぎっス...♡
ん...ゴツゴツの
指好き...♡
好き好き...♡

敗北感を
味わいながら
犯してもらうことに

俺はやみつき
になっている

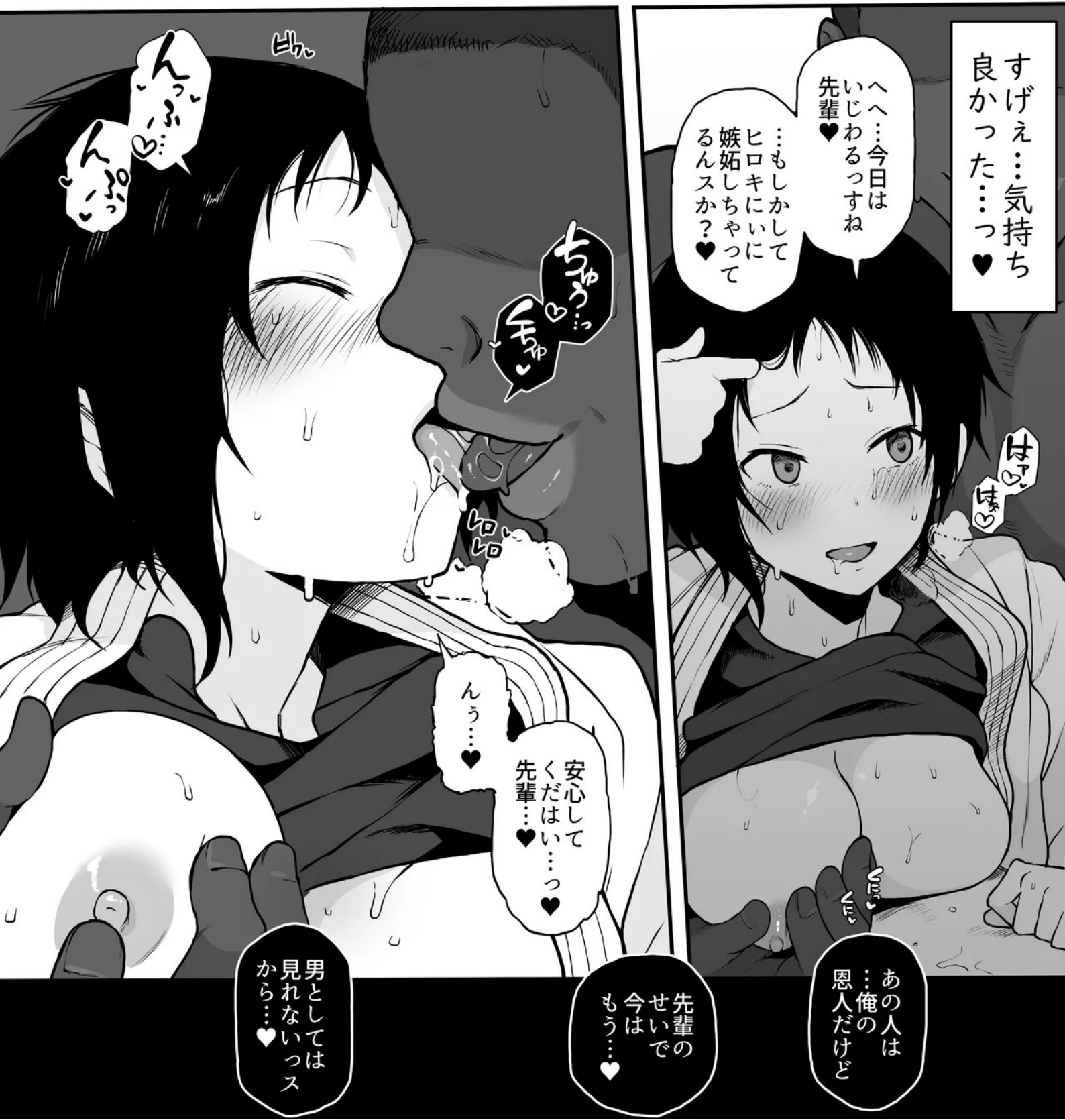
あっ♡

ごめ...
なさいっ♡

今日...っ♡

先輩に...
歯向かって
ごめんなさい
い...っ♡♡





うわー…♡
あはは♡ちよ
出しすぎっスよ♡

え？今日は
ゴムは
そのまま…？

いつもみたいに
中身飲まなくて
いいんすか？

じゃーあー…♡
金玉と尿道に
残ったザーメン♡

俺が
ゼーんぶ♡

吸い出しちゃう
っスよ♡♡

ぎゅっ♡…♡

ずん♡
ずん♡
ずん♡

ん♡

ずん♡
ずん♡
ずん♡

ん♡
ん♡
ん♡

ん♡
ん♡
ん♡



あの…先輩…
俺…今日…

もっと
したいっス…

先輩も
まだまだ
いっぱい
出そうじゃ
ないっスか

えへ…俺の部屋で
コレ…空っぽにして
いきませんか…

俺…今日は先輩の
言うこと…全部
聞クっスよ

コスプレとか…
あ…さっきみたいに
無理やり何か
言わされるのも…

空手…?
ああ…ヒロキにい
に適当に連絡
入れておきます

じゃあ…
俺…部屋で
待ってるっス

ひゃっ

ガラッ